

グローバル・クレジット：持続

米国経済は堅調で、次期政権がインフレ政策を打ち出す可能性がある中、より高い利回り水準がより長期にわたり維持される可能性があります。高インカム資産は恩恵を受ける可能性が高いものの、特にマクロ経済要因の予測が不可能性を考慮すると、投資家は油断すべきではないでしょう¹。



ブルース・カーシュ
共同会長 兼 CIO



デイヴィッド・ローゼンバーグ
高流動性パフォーマンス・クレジット・ヘッド
兼 グローバル・クレジット、
共同ポートフォリオ・マネージャー



ウェイン・ダール
グローバル・クレジット、
共同ポートフォリオ・マネージャー



ダニエル・ポリ、CAIA
グローバル・クレジット、
アシスタント・ポートフォリオ・
マネージャー

米国経済の著しい好調さや共和党新政権によるインフレ政策の可能性を背景に、追加利下げの期待は和らいでいます。クレジットのスプレッドはすでに歴史的にもタイトな水準にあり、不安定な金利環境下においてデレーションは頼れるリターン・ドライバーにはなり得ず、米国債の利回りは依然として高水準にあるため、クレジットにおいて唯一確実なのはインカムだけとなっています。このような背景から特に恩恵を受けているのは、高利回りの資産、特にシニアローンや CLO などの変動金利商品です。

では、FRB のタカ派姿勢の要因は何だったのでしょうか。また、米国債の高い利回り水準が継続する要因となるのでしょうか。

1. 米国経済の並外れた回復力：

- 米国 GDP は第 3 四半期に 2.8% という堅調な年間成長率を記録しました²。
- 消費者心理は 11 月初旬に 7 ヶ月ぶりの高水準に達しました³。
- 雇用データは予想を上回る好調さで、11 月には 225,000 人以上の雇用が創出されました⁴。

2. インフレにつながる可能性のある共和党新政権の政策：

- 関税引き上げによって、輸入消費財のコストが上昇する可能性があります。
- 減税は連邦政府の赤字を拡大させるでしょう。
- 移民制限は賃金上昇を招き、雇用確保が難しくなる可能性があります。

しかし、これらの要因は直線的な経過をたどるとは限りません。最近のインタビューにおいて、ハワード・マークスは「おそらくトランプ氏が実行する事柄の 98% は予測できず、また、彼が実行すると分かっている事柄の結果でさえ、おそらく予測できないでしょう」と指摘しています。米国経済は堅調な足取りをみせていますが、データが予想外の結果を示せば、ボラティリティにつながる可能性もあります。また、トランプ政権による政策は、予測できない二次的な影響を及ぼすかもしれません。

マクロ経済要因を予測することは困難ですが、投資家は利回りに注目し、インカムを最大化することでポートフォリオのリターン向上が図れるでしょう。確かに、資産は一般的に信用リスクが高いほど多くのインカムを提供します。従って、高インカムを選ぶことが万能というわけではなく、慎重な審査と下方リスクに対する強固なプロテクションを組み合わせる必要があります。

脚注

1. 出所：The Roundup: Top Takeaways from Oaktree's Quarterly Letters 2024 年 12 月版。内容は、2024 年第 3 四半期のレターまたは 2024 年第 4 四半期に顧客に送付されたその他の資料に由来する、またはそれらのアイデアから着想を得たものです。テキストは、スペースの都合上編集され、更新され、必要に応じて拡張されています。
2. 米国経済分析局。
3. ミシガン大学調査。
4. 米国労働統計局。

重要な開示事項

すべての投資にはリスクが伴います。投資の価値は時間とともに変動し、投資家においては、利益を得るもしくは投資の一部または全てを損失する可能性があります。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

資産クラスとして、プライベート・クレジットは多様な債券で構成されています。それぞれのリスク/リターン特性は異なるものの、プライベート（非上場の）クレジット投資では、資金調達の見込みが限定的な企業へのオポチュニスティックな投資を模索するため、一般的に、上場のものと比較してデフォルト・リスクが高くなります。プライベート・クレジット投資では、通常、発行体が投資適格未済または無格付けであるため、より高いリスクの対価として利回りもより高くなります。

©2024 Brookfield Corporation; ©2024 Brookfield Asset Management Ltd.; ©2024 Oaktree Capital Management, L.P.; ©2024 Brookfield Oaktree Wealth Solutions LLC; & ©2024 Brookfield Public Securities Group LLC.

ブルックフィールド・オークツリー・ウェルス・ソリューションズ・エルエルシーとブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシーは、それぞれブルックフィールド・コーポレーションの間接過半数所有子会社です。

当資料に含まれる論説および情報は、教育および情報提供のみを目的としており、いかなる証券もしくは関連する金融商品の募集または購入申し込みの勧誘ではなく、そのように解釈してはなりません。当資料内の説明は広範な市場、産業もしくはセクターのトレンドまたはその他の一般的な経済や市況を論じており、秘密情報として提供されています。

将来の見通しに関する記述

当資料は、米国連邦証券法令、具体的に米国 1934 年証券取引所法（その後の改正を含む）第 21E 条、そしてカナダ証券法令における意義の範囲内における将来の見通しに関する記述を含む情報やそれらに基づく情報が含まれています。将来の見通しに関する記述は、事業戦略や投資戦略もしくは戦略遂行のための措置、競争力、目標、事業の拡大および成長、計画、見込み、将来の成功への言及など、将来の行動、事象または動向に関して、過去の事実の記述以外のすべての記述を含みます。

これらの記述は、過去または現在の事実と厳格に関連しないという事実によって特定することができます。「予測」、「推定」、「期待」、「予想」、「想定」、「計画」、「考え」やその他の類似する用語は、これらの将来の見通しに関する記述を特定するために用いられます。将来の見通しに関する記述は、不正確な仮定や既知もしくは未知のリスクおよび不確実性によって影響を受ける可能性があります。そうした要素の多くは、将来の実際の結果や成果を決定する上で重要となります。そのため、いかなる将来の見通しに関する記述についても保証はありません。実際の結果や成果は大きく異なることがあります。これらの不確実性を踏まえ、これらの将来の見通しに関する記述に不当に依拠するべきではありません。

Contact Us

 brookfieldoaktree.com

 japan@brookfieldoaktree.com

分散は、利益を保証したり、金融市場の下落局面において損失を回避したりするものではありません。